

6 月から 12 月にかけて潮位が高くなります
—岩手県から福島県にかけては浸水や冠水に注意を—

平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震に伴う地盤沈下が大きい地域では、6 月から 12 月にかけて、大潮の時期を中心に浸水や冠水に一層の注意が必要です。

例年、夏から秋にかけては、海水温が高くなることなどの影響で全国的に潮位が高くなり、沿岸地域では浸水や冠水が発生しやすくなります。

特に「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震」に伴い顕著な地盤沈下が生じた岩手県から福島県にかけての沿岸では、6 月から 12 月まで大潮の時期を中心に潮位が高くなります(別紙図 1、表 1 参照)。地盤沈下の影響で浸水が起きている地域では浸水の深さが増大するほか、浸水していない地域でも大潮の満潮時を中心に浸水するおそれがありますので注意してください(別紙図 2 参照)。

また、台風や低気圧が接近したり、異常潮位※が発生した場合は、さらに潮位が高くなりますので、より一層の注意が必要です。地元気象台から発表される情報に留意してください。

平成 28 年の各地の平常時の潮位は気象庁ホームページの潮位表でご覧いただけます。また、岩手県から福島県にかけての各地点については、高潮注意報基準に近づく、または超える時間帯を分かりやすく示した毎時潮位カレンダーも掲載しています。

【潮位表】

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/index.php>

【毎時潮位カレンダー】

http://www.data.jma.go.jp/gmd/omp/311/tide/takashio_portal.html

※ 潮位が気圧配置・海水温・海流の変動などの要因により、比較的長期間(1 週間から 3 か月程度)継続して平常より高く(もしくは低く)なる現象

【本件に関する問い合わせ先】

仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課

電話：022-297-8107 内線 2295

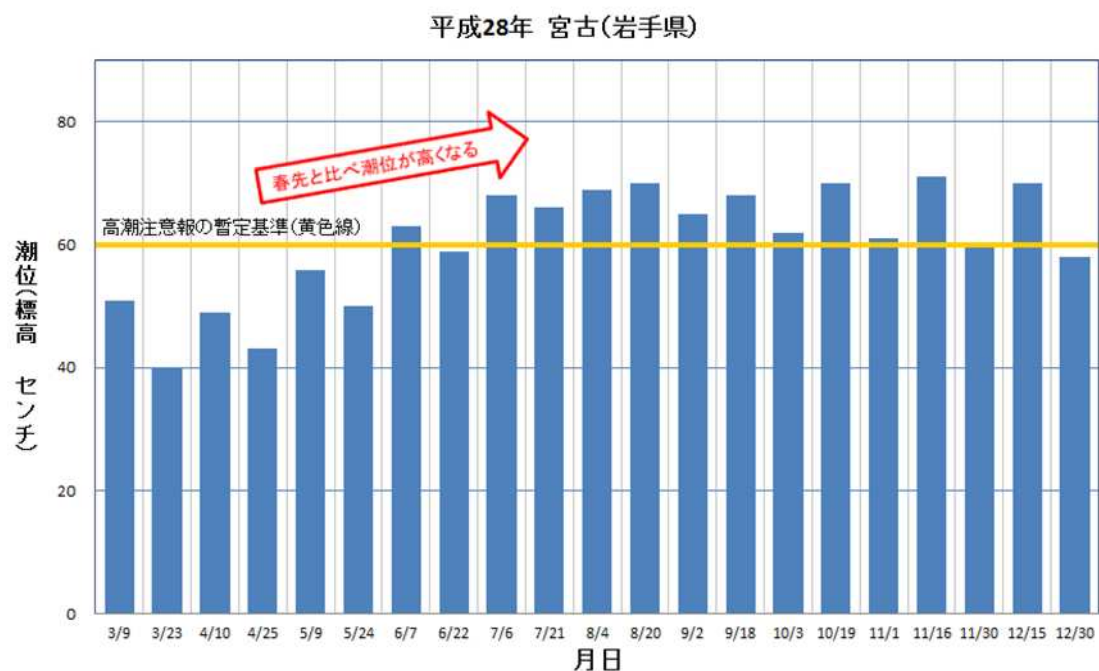


図 1-1 大潮の時期における平常時の最高潮位（宮古（岩手県））

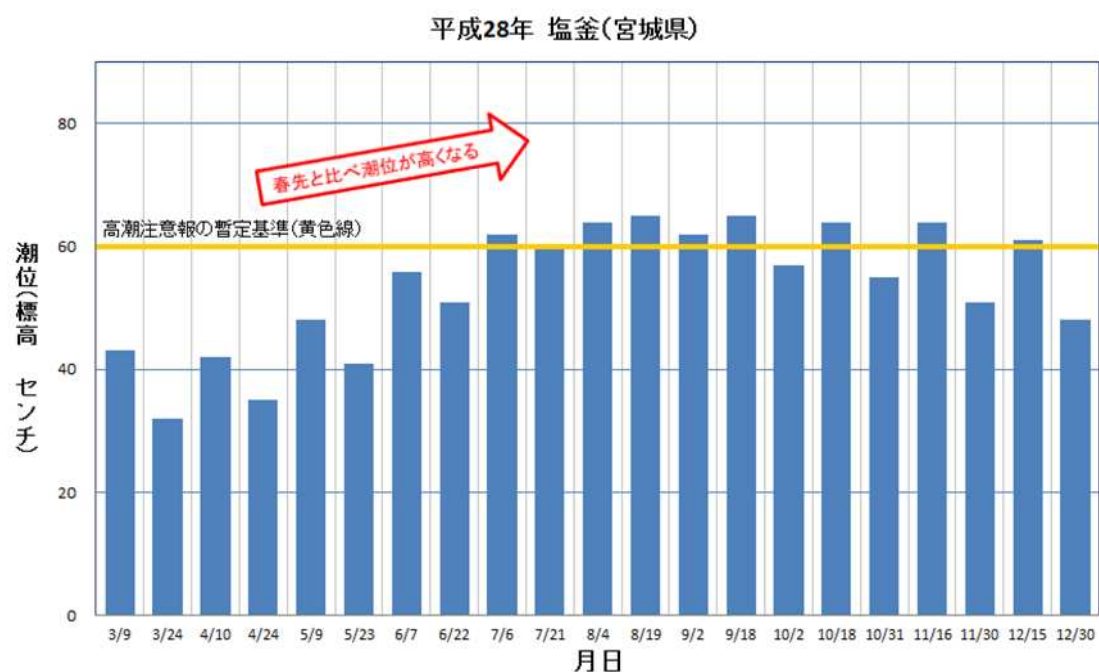


図 1-2 大潮の時期における平常時の最高潮位（塩釜（宮城県））

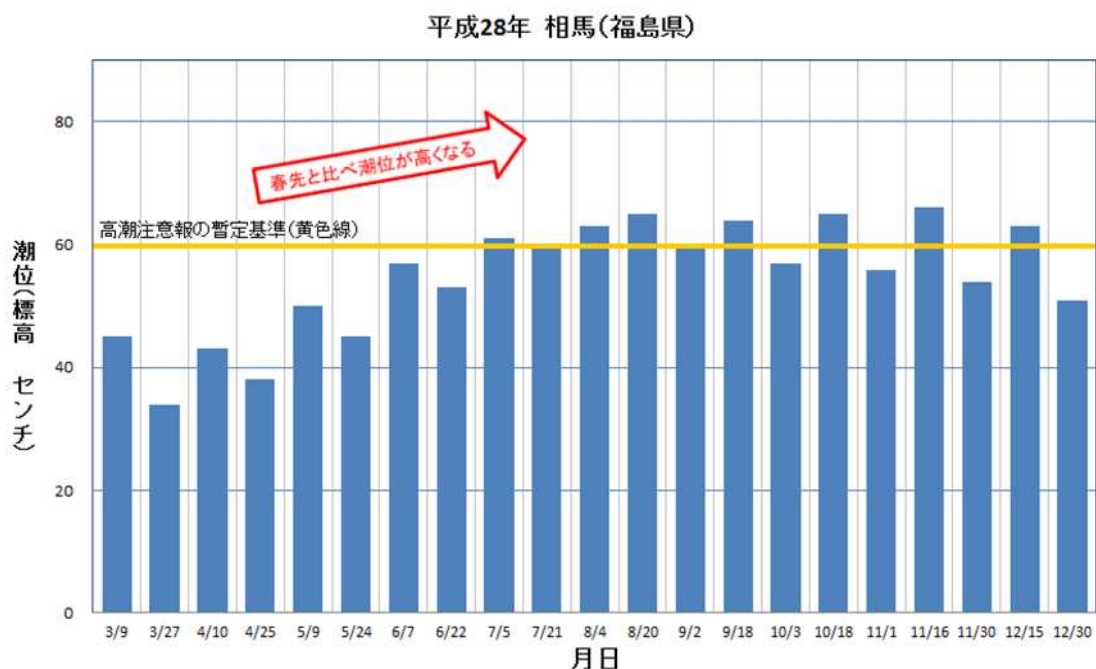


図 1-3 大潮の時期における平常時の最高潮位（相馬（福島県））

※各グラフの日付は、大潮の時期の中で平常時の満潮の潮位が最も高くなる日を表します。
 ※平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震に伴い、岩手県、宮城県、及び福島県では、通常基準より引き下げた暫定基準を設けて高潮警報及び注意報を運用しています。

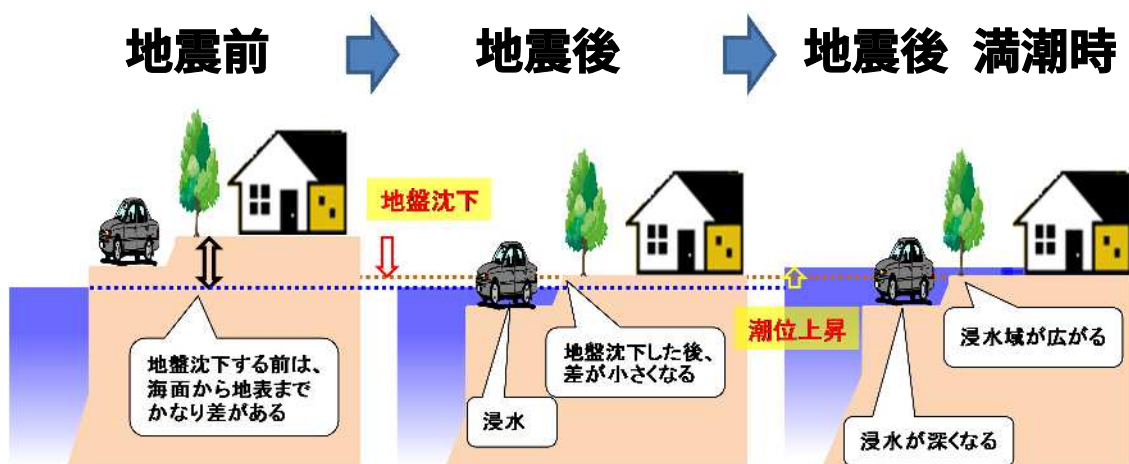


図 2 地盤沈下した地域の満潮時の潮位のイメージ

6 月から 12 月にかけては、潮位が高くなります。このため、地震後の地盤沈下の影響で浸水が起きている地域では、浸水の深さがさらに増大するほか、冬や春に浸水していない地域でも大潮の満潮時を中心に浸水するおそれがあります。

表 1 平成 28 年 6 月以降の満月と新月の日

月	日	
6 月	5 日 (新月)	20 日 (満月)
7 月	4 日 (新月)	20 日 (満月)
8 月	3 日 (新月)	18 日 (満月)
9 月	1 日 (新月)	17 日 (満月)
10 月	1 日 (新月)	16 日 (満月)
	31 日 (新月)	
11 月	14 日 (満月)	29 日 (新月)
12 月	14 日 (満月)	29 日 (新月)

満月や新月の日の前後数日間が大潮の時期にあたります。

なお、満潮の潮位が最も高い日は、東北地方の太平洋沿岸においては、多くの場合、満月や新月の日よりも 1 日～4 日遅れて現れます。また、同じ大潮でも満潮の潮位が最も高くなる日は地点によって異なる場合があります。